

第47回ISP&クラウド事業者の集い in 熊本 開催報告書

日にち：2017年4月20日（木）～21日（金）

場所：熊本商工会議所 大会議室

〒860-8547 熊本市中央区横紺屋町10

TEL 096-354-6688

<http://www.kmt-cci.or.jp/access.php>

後援：九州総合通信局

熊本市

協力：IMS 株式会社

参加者：87名

プログラム：

■4月20日（木）

13:00～受付開始

13:30～13:35 ご挨拶 地域ISP部会 部会長 晋山孝善氏

～熊本震災・福岡陥没事故関連セッション～

13:35～14:05 総務省 九州総合通信局

情報通信部 電気通信事業課 課長 氏家宏之氏

14:05～14:35 株式会社IMS 代表取締役社長 高木大輔氏

14:35～15:15 「IP化の進展と円滑な接続の実現に向けて」

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部

料金サービス課 課長補佐 柳迫泰宏氏

15:15～15:30 休憩

15:30～15:45 ソフトバンク株式会社

西日本技術本部 副本部長 兼 九州技術統括部長 野中孝浩氏

15:45～16:00 株式会社NTTネオメイト

ネットワークサービスオペレーションセンタ 担当課長 小山晃広氏

16:00～16:15 九州通信ネットワーク株式会社

技術本部技術部計画グループ長 渡邊義和氏

16:15～16:30 KDDI株式会社

運用本部 運用品質管理部 特別通信対策室長 大迫唯司氏

16:30～16:35 休憩

16:35～18:00 パネルディスカッション

モデレータ：ソフトバンク株式会社 安力川幸司氏

ソフトバンク株式会社 野中孝浩氏

株式会社NTTネオメイト 小山晃広氏

九州通信ネットワーク株式会社 渡邊義和氏

KDDI株式会社 大迫唯司氏

19:00～ 懇親会

■4月21日(金)

- 10:00～10:20 「JAIPA 新規入会者紹介」
ーNTT コムウェア株式会社
通信ビジネス事業本部営業部 栗田勝博氏
ーNTT メディアサプライ株式会社
- 10:20～10:30 「JAIPA CloudConference 2017 について」
～7月19日 品川コクヨホールで行うクラウド事業者向けイベント～
クラウドカンファレンス実行委員
GMO クラウド株式会社 請園 薫氏
さくらインターネット株式会社 杉本 悠加氏
- 10:30～11:20 「プロバイダの違法有害情報及びプロ責法対応の課題」
JAIPA 行政法律部会長 木村孝氏
- 11:20～11:45 「電気通信紛争処理委員会について」
総務省紛争処理委員会 上席調査専門官 徳部潔氏
- 11:45～12:15 「電話網の IP 化の進展と技術基準」
ソフトバンク株式会社 安力川幸司氏
- 12:15～13:00 お昼休憩
- 13:00～13:15 「公衆無線 LAN 版安全・安心マークについて」
JAIPA 副会長 立石聡明氏
- 13:15～14:15 「ID 管理の重要性と企業リスク」
～IDaaS と繋がることにより通信事業者やユーザーにどんなメリットがあるか～
GMO グローバルサイン株式会社 SKUID 事業部 赤坂 佳威 氏
- 14:15～15:00 「Apache Struts2 他、脆弱性を悪用した攻撃について」
～ サーバへの未修正の脆弱性を悪用する攻撃、そろそろ防ぎませんか？ ～
一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC)
早期警戒グループ マネージャ 洞田慎一氏
- 15:00～15:15 休憩
- 15:15～16:00 「IPv4 アドレスの移転状況と今後について」
～移転件数および価格推移と inter-RIR 移転(国際間移転)について～
株式会社 Geolocation Technology 松村賢三氏
(旧商号：サイバーエリアリサーチ株式会社)
- 16:00～16:30 「アップデートトラフィック アンケート結果について」
株式会社大塚商会 木室 友裕氏
- 16:30～17:30 「ネットワーク中立性と IGFJ の議論状況」
JAIPA 副会長 立石聡明氏
- 17:30～18:00 「熊本震災時におけるクラウド活用について」
株式会社システムフォレスト 代表取締役 富山孝治氏

18:00～18:30 「熊本地震発生時のトラフィック及び設備の状況について」
九州通信ネットワーク技術本部サービスオペレーションセンター
ネットワークマネジメントグループ長 西田圭氏

19:00～ 懇親会

プログラム委員：

石田卓也 株式会社イプリオ
佐々木謙太 NTT スマートコネクト株式会社
宮内正久 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
宮島将日晃 株式会社IMS
村田篤紀 株式会社DMM.com ラボ
安力川幸司 ソフトバンク株式会社



概要：

2016年4月に熊本地震が起きました。1回目の地震のときにはJAIPAで沖縄ICTフォーラムの打ち合わせをしているときでした。その時はこんなに大きな地震だとは思わず過ごしておりましたが、一夜明け、さらに2回目の地震が大きく、「大変なことになった」と。テレビを見てその惨事を拝見し、メールを送るのが精一杯のことでした。年内に熊本で集いをすることも考えましたが、何う事でご迷惑では無いかと思い、1年後の今回やっと実現することが出来ました。2011年の東日本大震災を経験している晋山部会長の熱い思いがあり、～熊本震災・福岡陥没事故関連セッション～として、震災をテーマにしたものを1日目に開催いたしました。東日本大震災の際にキャリアの現状や課題などを「集い」で取り上げ、パネルディスカッションで情報共有や意見交換をしたため、今回も熊本地震について、キャリアの方、役所の方にご協力いただき当時の話をさせていただこうとプログラムを作りました。予め、熊本県庁にご挨拶に赴き、熊本地震で主に通信がどうなった



のか、困ったことや問題点などをお伺いできればと申しましたら、「いや、通信は全然、大丈夫だったんですよ。問題なく。だから、ライオン逃げたみたいなの、SNSが出てきて・・・」と言うことでした。その後話続かず。お話しはそこまでとさせていただきます、現状の情報を頂戴しました。こういった一般の個人向けでなく、事業者（特定）向けのセミナーは、熊本県としては後援出来ないとのことで後援名義使用も断念いたしました。都道府県、市町村は、様々な決まりがあり運営の難しさを痛感しました。



さて、いろいろありましたが、1日目の最初は九州総合通信局報通信部 電気通信事業課 課長 氏家宏之氏に震災の話をしていただきました。氏家氏は、東日本大震災の際には東北総合通信局勤務だったそうで、九州総合通信局に異動になってすぐにこの熊本地震も体験されたそうです。過去二度の大地震を体験した、それぞれの土地での様子や行動、その時に思ったこと等を語っていただきました。

自分の家も大変だったのに、役所での責任も有り大変なご苦勞をされたと思います。実際に体験されたからこそその話をお伺いできてとても有意義なセッションでした。次に、この集いをバックアップしていただいたIMS株式会社の高木社長からは、地震のその後をどう過ごしたか、食料、備品を調達配布する中、どうやったら、その人達が必要な物を効率よく渡せることができるのか。SNS等も使い試行錯誤して行った様子が良く見て取れます。ご苦勞なさったのだと思います。

次のセッションは皆様、あれ？と思ったかもしれませんが、「IP化の進展と円滑な接続の実現に向けて」として総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 料金サービス課 課長補佐 柳迫泰宏氏にお話しいただきました。今回柳迫さんがどうしても日程の都合がつかなく、この震災枠の中に入ったのですが、この話題は現在までも続いている大事な案件なので、「集い」の機会に皆様に情報を入れておきたくここに



入れさせていただきます。総務省主催で行っている「接続料の算定に関する研究会」での概要と事業者に対して、意見等を寄せてほしいと言うことでした。お忙しいところ本講演のみの参加で、このご講演でお帰りになってしまいました。また引き続き進捗状況などをお話しいただく機会が持てればと思っております。休憩を挟んで各通信会社（ソフトバンク株式会社、株式会社NTTネオメイト、九州通信ネットワーク株式会社、KDDI株式会社）4社に熊本地震当時の様子と対応状況をそれぞれご説明いただきました。ソフトバンクの野中さんのお話によると2016年度九州は災害が多かった、4月が熊本地震、6月は集中豪雨、9月の台風、10月は阿蘇山噴火、12月はびっくりしましたねえ、博多駅前陥没。落ち着かない1年だったので無いですでしょうか。通信



回線が切れなくて全然大丈夫だったという意見は、今回の通信キャリアの方々のがんばりがあったからではないでしょうか。今回は、ソフトバンク株式会社の安力川氏にモデレータを担当いただき、その後パネルディスカッションも行いました。携帯基地局も益城町中心部の局所的停電の影響があったり、サービスエリア復旧には臨時で無線伝送路を構築、高速衛星で Wi-Fi サービスをしたり、設備総点検を行う為の時間もだいぶかかったでしょう。さらに避難者への支援活動も行っていたそうです。東日本大震災で学んだことを活かし、エリア復旧体制、協力体制の確立を早々と行い、このライフラインとなっている通信を守ってくださっているのだなと感じました。そして、同業者・ライバルが、ここぞと言うときに水面下で協力し合っているのもわかりました。この機会にご登壇いただきまして有難うございます。心より御礼申し上げます。



2日目は、前回の集いから始めた、JAIPA 新規入会社の会社紹介から。今回は NTT コムウェア、NTT メディアサプライの 2社でした。これからもよろしくお願いたします。そして、7月19日に予定されている CloudConference2017 の告知・協賛協力依頼を実行委員会メンバーの請園、杉本の 2名で皆さんにアピールです。良く出来ました、お疲れ様でした。皆様もぜひご協力ください。これ以降は、日々の事業者

が抱えている問題や課題を取り上げ、有識者にお話しを頂戴しました。JAIPA 行政法律部会会長兼会長補佐の木村氏による「プロバイダの違法有害情報及びプロ責法対応の課題」として昨年10月に発足した「ネット社会の健全な発展に向けての連絡協議会」の春の集中キャンペーンの一環として位置づけでご講演いただきました。違法有害情報対策が考え方や対応等、分かり易く整理されていました。次に毎回恒例の「電気通信紛争処理委員会」のご講演です。何か紛争処理案件がありましたら、お気軽にご相談ください。とのこと。お昼休憩を挟み、2月末日に新しく設置された「公衆無線 LAN 版安全・安心マーク」の説明です。十数年 ISP 版安全・安心マークを運営してきましたが、新たに公衆無線 LAN についての安全・安心マーク制度を設けました。<https://www.isp-ss.jp/info/2017/02/post-5.php> ぜひ、ご覧になってみてください。また、公衆無線 LAN を運営している事業者・団体向けにご案内していただければ幸いです。

次は、「ID 管理の重要性と企業リスク」として、GMO グローバルサイン株式会社 赤坂さん、「Apache Struts2 他、脆弱性を悪用した攻撃について」を JPCERT/CC の洞田さんより、それぞれセキュリティに重要なご講演をいただきました。その後も IPv4 アドレスの移転状況や、アッ

アップデートトラフィックアンケート結果、ネットワークの中立性と IGFJ の議論状況など、多岐にわたるプログラムで、参加者が飽きる事無く聞くことが出来た集いだったと思います。最後に熊本の震災に携わった人にクラウド活用やトラフィックと設備の状況などをお話いただき締めくくっていただきました。



今回の集いで、47回目を迎えますが常に課題、問題が付きない日常だと思しますので、JAIPAでなくては出来ないこと、やらなければならない事など、皆様の気づいたことをぜひ、事務局にご連絡ください。部会、そして集いで取り上げていきましょう。今回ご協力いただいたIMS株式会社 宮島様、そして毎回進行し会含めて引き受けてくれるプログラム委員の皆様、有難うございました。引き続きよろしく願いいたします。(M)